

パブリックコメントに寄せられたご意見への回答

No	ページ	ご意見	回答
1	66	本計画にも「インターネット・SNSの普及による新たなトラブルの発生」(p66)というように、インターネット・SNSが子どもに与える影響についての問題意識が書かれています。スマホ等のデジタル機器の使用が0歳児から3歳児の乳幼児にも急速に普及していることは、こども家庭庁の調査によって明らかです。父母等保護者と乳幼児との間のアタッチメントが最も大切な乳幼児期にそれを阻害し育ちに悪影響を与えるスマホ等デジタル機器の使用についての乳幼児の保護者に対する啓発がきわめて大切であると考えます。小児科学会からは10年以上前から乳幼児の育ちに悪影響を与えると警告が発せられています。	計画に従い、望ましいメディアとのつきあい方の普及・啓発に努めます。
2	69	インクルーシブの対象は障がいのある子どもだけでなく、外国人も対象ではないでしょうか。	御意見を踏まえ、修正します。
3	72	笠岡市子ども条例の普及・啓発に関して具体的な方策がありますか？あまりにも低い認知度に驚きます。笠岡市に『笠岡市子ども条例を進める会』という市民のグループができていますので、連携して具体策を考えていったらどうでしょうか？	笠岡市子ども条例の認知度の向上に向け、今年度から新たな取り組みとしてSNSを活用した情報発信を実施しています。引き続き市民の声に耳を傾けながら認知度の向上に向け取り組んでいきます。
4	72	こどもの意見を反映する仕組みの構築について、こどもを対象とする政策や子どもが利用する施設の運営に関してこどもの考えを拾い上げることができるような、中高生が本音が出せる居場所があればいいのではないのでしょうか？	計画に従って、施策を実施していく中で検討していきます。
5	73	こども家庭センターがどのような機関なのかの周知をしっかりとしてほしいと思います。相談の窓口として市民に分かりやすく伝えていかないといけないと思います。	引き続き周知に努めます。
6	74	子ども食堂を実施する団体への支援は、食材費のみではなく、その他の経費(運搬や配送費、ボランティアの交通費等)にも充てられるようなものでないと安心して続けることができません。検討をお願いします。	こども食堂の運営に係る費用の補助については、食材費のみではなく、消耗品費や光熱水道費、賃借料、交通費、保険料など運営に必要な経費について対象としています。今後も団体が安心して運営できるよう、支援の充実に努めていきます。
7	77	笠岡市には産科の病院がないので、妊娠に対する不安は経済的なものだけではないということを認識してほしいと思います。妊娠に踏み切れない大きな理由になっていると思います。	安心して出産できる環境の一助として、令和7年7月より、福山市民病院と連携した産科セミオープンシステムを導入しています。妊娠検査、妊娠33週までの妊婦健診は笠岡市立市民病院で行い、それ以降の妊婦健診から分娩、緊急時の対応は福山市民病院で行います。さらに、助産師も派遣していただいているため、健診から分娩まで寄り添うことが可能となっています。また、パパ・ママサポート119の登録により、出産時にも対応しています。引き続き、妊娠・出産に係る負担の軽減に努めていきます。
8	88	第3期笠岡市子ども・子育て支援事業計画p56には、「こどもの意見を反映する仕組みの構築」とありますが、本計画は「仕組みの構築」ではなく、「機会づくりに努めます」とやや後退した表現になっています。一過性の「機会づくり」ではなく、恒常的な「仕組みの構築」に改めてください。	第3期笠岡市子ども・子育て支援事業計画P.56「こどもの意見を反映する仕組みの構築」については、素案のP.72に同内容で記載しています。また、今回ご指摘いただいた素案のP.88の項目については、第3期笠岡市子ども・子育て支援事業計画P.69「こどもの意見を聞く機会の確保」へ記載しています。
9	-	子どもに関するたくさんの施策があるので、子育て家庭の転入を促せるように、キャッチーなフレーズを考えてアピールするなど市内外に知らせて子どもの数を増やすことを真剣に考えてほしいと思います。	本市では、子育て支援策など、多くの取組を行っているものの情報発信の方法や伝え方に課題があり、市民の方や近隣住民の方に情報が十分に届けられておらず、更なる工夫が必要であると認識しています。ご意見いただいたように、市の魅力・施策・成果について広く周知することにより、市のイメージ改善や定住促進が図れるよう情報発信に努めていきます。
10	-	全体的に分量が多いので、自分の意見に該当する箇所を探し出すことが難しいと感じました。パブリックコメントを求める場合、笠岡市の課題に対して計画を対比できるように、例えばアンケート結果の考察の後や前期計画の評価と課題点の所の▼笠岡市の現状と課題の後に、それぞれに対応する計画のページと該当箇所を明記するようにしてあると笠岡市の取り組みがよく伝わるのではないかと思います。	今後パブリックコメントを実施する際の参考にします。
11	-	現在市内で実施されている各種子育て支援施策の周知について、必要とする人に届くよう、広報や暮らしの便利帳、子育て情報誌等への掲載をし、漏れなく発信してほしい。	子育て支援施策の利用促進に繋がるよう周知に努めます。
12	-	切れ目のない支援を実施に向け、各種子育て支援施策への予算を充実させてほしい。	限られた財源の中で、切れ目のない支援を実現するために、効果的な施策の実施に努めます。